

リビング編集部が街中の 身近なユニバーサルデザインを 見つけていきます



毎月、リビング編集部が郡山市の熊田佳恵さんと共に、街中の身近なユニバーサルデザインを見つけていく「こおりやまUD探訪」わたしの街のユニバーサルデザイン」のユニバーサルデザイン」のこのコラムのバックナンバーは、郡山市ホームページ「こおりやまUD探訪」で検索を。UDコラムに関する問い合わせは、郡山市市民部 市民・NPO活動推進課 ☎024(924)3471。



温かみのある自然と笑顔がこぼれる木製カップ

PR



わたしの街の



ユニバーサル
デザイン

ユ- ディ-

こおりやまUD探訪

vol.9 株式会社アサヒ研創



見ているだけでみんなが笑顔になれるユニバーサルデザインの商品があったらうれしいですね。

アサヒ研創は、東日本大震災や台風水害を経験したことで、これまで培ってきた木工技術を生かしつつ、誰もが使いやすく楽しめる商品を通じて全国の人に恩返しをしたいと思います。目指したのは「説明書の要らない、触れたらわかる商品づくり」。手になじみやすく少ない力で持てる楕円形のカップは、小さなお子さんでも

使いやすいと喜ばれています。片手で持てる太鼓は、気軽に音楽に親しめる楽器として介護施設などでレクリエーションツールに使われることもあるそうです。取締役の大内和也さんは、「みんなに優しい商品を作るには、常に進化が求められます。手にすることでリラックスしたり、幸せになれる木工製品を通じて、地域と人がつながってほしい」と話します。新しい発想と工夫で、みんなにやさしいUDを広げていきたいですね。



モノ作りを通じて、地域と人をつなげたいと思い、海老根和紙でうちわ形の「太鼓」を作りました。年齢や国籍を問わず、誰でも片手で安全に音が出せるグローバルデザインです。福島ファイヤーボンズ公式グッズの太鼓は、声援、の代わりに音、での応援を推進。

取締役 大内和也さん



片手で簡単に音が出せる太鼓